

3/7 ルカの福音書 22 章 1-23 節 「新しい契約」

小池 宏明 牧師

主イエス様は、過越の食卓を廃止して、新しい契約のしるしである聖餐式を制定された。それは、旧約時代から新約時代に移り変わったことを意味する。

*パンとぶどう酒

旧約時代の預言者エレミヤはやがてイスラエルに与えられる「新しい契約」を預言していた。

この新しい契約は、一人ひとりの心の中に律法が刻まれる、という約束である。すなわち、聖霊によって自発的な服従の心が創り出され、人々が神を愛し、隣り人を愛するという律法に自ら従うようになるという約束である。(エレミヤ 31 : 31 - 34) この預言の通り、イエス・キリストは、「**新しい契約**」を与えてくださった。(19、20 節) 主イエス・キリストは、パンを取って、感謝の祈りをささげながら、裂いて、弟子たちに与えられた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。」イエス様は、ご自分の「死」のありさまを語られたのだ。裂かれたパンこそ、私たちのために、十字架上で裂かれた主イエス・キリストのからだを象徴している。続いて、ぶどう酒の杯を取って「**あなたがたのために流される、わたしの血**」であると語られた。ぶどう酒をご自分が流される血潮に例えられたのだ。血を流されるのは、血を流すことがなければ、罪の赦しがないからである。(レビ記 17:11、へブル人への手紙 9:22) 主イエス・キリストは、自ら、血を流して、救いの道を開いてくださった。

父なる神様ご自身が、愛する独り子を、動物の犠牲のように、ささげられたのである。こうして、救いの道を開いてくださった。

*聖餐を覚えて行え

主イエス様は、おごそかに命じている。「**わたしを覚えて、これを行ないなさい。**」(19 節)

「キリストの裂かれたからだと流された血潮を、心の奥に刻み付けなさい、何度も何度も、繰り返し行って、繰り返し刻み付けなさい。」ということである。こうして、私たちキリスト者は、キリストを食べながら、キリストを飲みながら、キリストの心が、我が心が変わって行くのだ。キリストの似姿に創り変えられていくのである。(エレミヤの預言が成就した)

ある方は、教会の礼拝に集うようになって、聖餐式のパンと杯に与かりたいと切望するようになり、聖書の学びをして、信仰告白と洗礼の恵みに至った、という証詞をしていた。今日、多くの教会が、キリスト者と未信者とが一緒に礼拝に出席し、聖餐式を公開しているのは、主なる神様を中心とした聖餐式の恵みに、「どうぞ、お入りください」とお招きしているからである。この喜びを共に分かち合って生きたいと願っているからである。